第38回大会

中国・四国・九州地区

生涯教育実践研究交流会



●期 日 令和元年5月18日(土)~19日(日)

●会 場 福岡県立社会教育総合センター

●主 催 福岡県教育委員会

日本生涯教育学会九州支部

●主 管 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 第38回大会実行委員会 福岡県立社会教育総合センター

テーマ 『つながり・協働』する社会教育の再構築 ~多様化・複雑化する地域課題の解決にむけて~

第38回の「中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会」を開催することになりました。今年も各県の28の実践事例を推薦いただき、実行委員・大会事務局・当大会ご参加の皆様方に心から感謝申し上げます。

近年、地域(まち)をブラブラしながら取材し、レポート発信しています。そこには、地域から見る重要な気付きがあります。それは地域が、人口減少、少子高齢化、さらには、限界・消滅集落、学校の統廃合・廃校、空き家、買い物難民等々多くの課題に直面していることです。

一方、内閣府等では、人生100年時代の到来、Socity5.0(狩猟・農耕・工業・情報・人間中心社会)実現等が提唱されています。

今後の『未来の必要』を目指すには、一つには、持続可能な社会づくり(SDGs)を進めるため、地域住民自らが地域運営に主体的に関わる組織づくりが重要です。二つには、住民自ら必要な事を学び・向上し、その成果を地域づくり等に活用する人材育成等が求められます。具体的にどうするかが喫緊の課題です。

このような中、昨年(平成30年)12月21日、中央教育審議会から「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」(答申)が出されました。平成が終わる年に「平成最後の答申」が出されたのです。そこでは、「地域における社会教育の目指すもの」として「『社会教育』を基盤とした、ひとづくり・つながりづくり・地域づくり」としています。さらに、「新たな社会教育の方向性」として「開かれ、つながる社会教育の実現」を掲げ「住民の主体的な参加のためのきっかけづくり」「ネットワーク型行政の実質化」「地域の学びと活動を活性化する人材育成の活躍」等を提言しています。まさに、従来から社会教育が目指してきた事であり、当「実践研究交流会」の存在意義があります。

第38回大会も、28の実践事例発表とともに、恒例の「特別報告「グローバル時代の日本文化再考」や「特別企画『高齢社会の放送大学』」、「『学習療法』で認知症高齢者の脳機能活性化に挑む」も、まさに、我が国の抱える重要課題です。ご期待下さい。本大会をご支援・ご指導くださいます各県実行委員の皆様をはじめ、福岡県教育委員会、福岡県立社会教育総合センターに心より厚く感謝申し上げます。

中国,四国,九州地区生涯教育実践研究交流会 代表世話人 古市 勝也

中国·四国·九州地区生涯教育実践研究交流会 第38回大会 実行委員

田中 恒治 (鳥取県) 鳥取県教育委員会事務局社会教育課

原田 尚(島根県)島根県益田市立戸田小学校

渋谷 秀文(島根県)島根県益田市立西益田小学校

吉岡 康行(広島県)広島県教育委員会生涯学習課

正留 律雄(広島県)広島県大野子ども体験活動・ボランティア活動支援センター

東川 絵葉 (岡山県) 岡山県教育庁生涯学習課

赤田 博夫 (山口県) NPO法人宇部環境コミュニティ

矢田部敏夫 (山口県)山口県美祢市教育委員会学校教育課

坂井 孝吏(高知県)高知県黒潮町立大方中学校

濱崎 博志 (高知県) NPO法人高知県生涯学習支援センター

中尾 治司(愛媛県)愛媛県教育委員会社会教育課

岩野 泰典 (徳島県) 徳島県立徳島科学技術高等学校

関 弘紹 (佐賀県) 佐賀県県民環境部まなび課

鴻上 哲也 (佐賀県) 佐賀県立黒髪少年自然の家

内川実佐子(佐賀県)特定非営利活動法人佐賀県CSO推進機構

富田 和宏(長崎県)長崎県対馬歴史民俗資料館

椋本 博志(長崎県)長崎県教育庁生涯学習課

武次 寛(長崎県)長崎県社会教育支援 草社の会

吉川 良二 (熊本県)熊本県菊池市生涯学習センター

三角 幸三 (熊本県)コミプロデザインファシリテーション研究所

岡田 正彦(大分県)国立大学法人大分大学

竹内 一久(宮崎県)宮崎県宮崎市立江平小学校

佐藤健一郎(宮崎県)宮崎県教育委員会生涯学習課

中野 敬(宮崎県)宮崎県教育委員会生涯学習課

田畠 悦子(鹿児島県) 前鹿児島県立青少年研修センター

大山 涼子(鹿児島県)かごしま県民大学中央センター

鵝木 孝夫(鹿児島県) 鹿児島県姶良市教育委員会

竹添 辰也(鹿児島県) 社会福祉法人泉心会 竹之迫保育園

大城喜江子(沖縄県)沖縄県浦添市立森の子児童センター

富松 文夫(福岡県)福岡県教育庁教育振興部社会教育課

森本 精造(福岡県)一般財団法人サンビレッジ茜

日高 公徳(福岡県)福岡県立社会教育総合センター

古市 勝也(福岡県)九州共立大学

正平 辰男(福岡県)飯塚市庄内生活体験学校

三浦清一郎(福岡県)生涯学習・社会システム研究者

紫園 来未(福岡県)オフィスしおん

山田 明(福岡県)九州共立大学

大島 まな(福岡県)九州女子大学

9:30 10	:15 10:	:45 12:	30 13	3:00	
受 付	開会式	実践発表.1		受	付
玄関ロビー	2F 講堂	第1会場:2F 第4研修室 第2会場:2F 自由研修室 第3会場:4F 視聴覚室 第4会場:4F 大研修室	昼食	玄関ロ	コビー

13:30 16:10 16:30 17:00 17:30 20:00 特別報告 実践発表.2 「グローバル時代の 日本文化再考」 第38回大会交流会 ~文化がつくりだす 第1会場:2F 第4研修室 動 「国柄」と「副作用」~ (2F 体育館) 第2会場:2F 自由研修室 報告者 三浦 清一郎 第3会場:4F 視聴覚室 (2F 講堂) 第4会場:4F 大研修室 フリータイム

交 流 会 特産品披露 ■日時:1日目の夜 17:30~ ■場所:2F 体育館

「実践研究交流会は、実践事例の発表がメインなのか、交流会がメインなのか?」と問われるくらい、毎年、毎年大盛況の交流会です。ちょっと緊張気味だった参加者の皆さんが、料理をほおばり、地酒を酌み交わして、「お国自慢」をし、「村おこし」の苦労を話し合い、「人づくり」の楽しみを語り合います。その熱気に、人々の顔は真っ赤、会場は熱気ムンムン!今年も、全館貸し切りです。どうぞ心おきなく、お楽しみ下さい。

なお、オークションの売り上げは次年度の運営費の一部とさせていただきますので、御了承下さい。

Time Schedule **2nd day 5.19sun.**

<u>8:30</u> 9:	00	11:30	12	:00
受付	特別企画「超高齢社会の『未来の必要』」 《インタビュー・ダイアローグ》 特別企画 「超高齢社会の『未来の必要』」 第1部「高齢社会の放送大学」~その使命と活用の可能性~ 登壇者: 菊川 律子 氏 (中央教育審議会委員		総括閉会式	昼食
玄関ロビー	2F 講堂		2F 講堂	

わたしの まちの ポスター展

■日時:5月18日・19日 ■場所:1F 交流ホール

大会開催中、参加者の皆さんが携わられている「まちづくり」や「人づくり」のイベントのポスターを掲示しています。どうぞ、ご覧下さい。



第1会場●2F 第4研修室

■司 会/宇井 知隆 鹿児島県姶良市教育委員会社会教育課 課長補佐 田中みさ子 佐賀市立南川添公民館 公民館主事

分科会の進め方 10:45~10:50

開成中学星サンタ~中学生の地域交流の創出~

10:50~11:20

宮田 朋美(佐賀県佐賀市) 佐賀市立開成公民館 主事

「開成中学星サンタ」は、サンタクロースに扮した中学生が、地域の保育園や希望した一般家庭等を訪問し、様々な家庭や子どもと交流する活動です。目的は、地域の一員としての自覚の醸成と、若者の新たな層の地域活動への参加促進等です。この活動は、「開成公民館」と「まちづくり協議会子ども部会」の共催で行っています。これらの、「子どもを中心に据えた公民館」の運営手法が評価され、第71回優良公民館文科大臣表彰を受賞しました。

高校生が本気で動き出す!~高校生×宮崎のかっこいい大人~

11:25~11:55

猪俣 志保(宮崎県宮崎市) みやざきジョブシャドウイング実行委員会 代表 川内 健二(宮崎県宮崎市) みやざきジョブシャドウイング実行委員会 副代表 桑畑 夏牛(宮崎県宮崎市) みやざきジョブシャドウイング実行委員会 副代表

県庁職員、市役所職員、高校教員、NPO法人職員、学生等で組織する「みやざきジョブシャドウイング実行委員会」が行うジョブシャドウイングが注目されている。ジョブシャドウイングとは、海外で行われているキャリア教育の手法で、働いている人にシャドウ(影)のように付き添い、仕事の様子を観察するというもの。県内で働く"かっこいい大人"の働く姿を見て、言葉を聞いて、高校生が「自分の将来について主体的に考え、動き出すこと」を目的にしている。「活躍する社会人の1日カバン持ち!」をキャッチフレーズに,2014年活動開始以来2019年3月で第10回を数えるという(参加高校生述べ85名、受入企業24社、H31.2.25現在)。

12:00~12:30

~西郷どんの里「龍郷町」、地域ぐるみ青少年事業の特色~

重田 美咲(鹿児島県龍郷町) 龍郷町教育委員会 主査

龍郷町は、西郷どんの妻「愛加那」の里です。奄美の自然・文化を活かした人づくりを目指しています。平成14年「地域ぐるみ青少年事業」(異年齢のふれあい活動、自然や伝統文化に触れる体験活動等)をスタートしています。平成17年度から「世界自然遺産の候補地」をきっかけに「龍郷町博物学講座」に、平成24年度からは、奄美群島の世界自然遺産登録に向け子ども達のプレゼン能力開発を目指しています。主催は「龍郷町教育委員会」です。



第2会場●2F 自由研修室

■司 会/眞鍋 幸一 愛媛県 国立大洲青少年交流の家 所長 奥畑 俊昭 福岡県教育庁京築教育事務所 主任社会教育主事

分科会の進め方 10:45~10:50

廃校舎活用の新たな試み~限界集落の負けない底力~

10:50~11:20

上村 博雅(山口県岩国市) ふるさとづくり推進協議会 篠田 三宣(山口県岩国市) ふるさとづくり推進協議会 田中 時子(山口県岩国市) ふるさとづくり推進協議会

平成12年度、長谷小学校が休校になり、その活用策の検討が始まる。長谷地区は4自治会、人口212人、109世帯、高齢化率51.4%(平成25年7月現在)の集落。平成17年に地域支援ネット「かぜ」が立ち上がり、小学生対象のキャンプやチェーンソー体験講座など、後に長谷地区ふるさとづくり推進協議会と連携する事業が企画実施される。同年に「岩国往来まちづくり協議会」の主唱で岩国往来の整備事業が始まり、長谷地区の協議会も積極的に参加。平成28年4月には旧長谷小学校グランドに長谷交流館が落成し、市長から篠田三宣に館の鍵が渡された。長谷地区は江戸時代から和紙作りが盛んだったことから、中学校と連携して三椏・楮(みつまた・こうぞ)の植栽に取り組み、旧校舎で和紙作りもした。平成23年からは「ほたる祭り」を始め、また美和町放課後子ども教室の活動拠点にもなっている。

歌とダンスで村の魅力発信! ~ほせぇ村からこんにちは、元気もりもり日吉津村~

11:25~11:55

井田 博之(鳥取県日吉津村) 日吉津村教育委員会 教育長

平成28年、住民有志から「ひえづのうた」制作の支援要望書が教育長に提出され、「ひえづのうた」制作委員会が中心となりDVDを制作した。歌詞は村民からの公募、DVD映像にはドローンを使い撮影された四季折々の村の様子を取り込んだ。福祉保健課は「ひえづのうた」を活用し「元気もりもり体操」を制作。DVDは村内全戸に配布され、歌は保育所や小学校の協力で園児や小学生にも浸透、防災無線、時報、電話の保留メロディ、にも使用され村内外にアピールできた。

小学校留守家庭子ども会での活動

3

12:00~12:30

中馬 綾香(福岡県福岡市) Little Hands 代表

2005年創立、今年で13年目をむかえる九州大学・筑紫女学園大学の学生約100名が所属する学生サークル。学生達が留守家庭子ども会(学童)や小学校に定期的に訪れて、一緒に遊ぶ、勉強を教えるなど、子どもたちと交流し、「お兄さん」や「お姉さん」のような役割を果たすことで、子どもが楽しみながら成長するきっかけを作る。福岡市内の小学生を対象に、留守家庭子ども会及び子ども会育成連合会と連携して、放課後の学習指導、工作イベント、運動イベント等、地域密着型の子育て支援を実施。平成29年度学生地域活動大賞の最優秀賞を受賞している。



3

第3会場●4F 視聴覚室

■司 会/桑原 秀明 熊本県教育庁教育総務局社会教育課 社会教育主事 **※ 恭子** 北九州市市民文化スポーツ局生涯学習課 前社会教育主事

分科会の進め方 10:45~10:50

今、求められる公民館活動~「サテライト菊池教室」からの学び~

10:50~11:20

山本 美千代(熊本県菊池市) 菊池市中央公民館長

「サテライト教室」は県と市町村の共同事業。菊池市では、平成28年度に「健康都市宣言」を行い、「市民の健康づくり」に力を入れていることから、中央公民館と健康推進課との連携による講座を企画し実施。「人生100年時代を元気に生きる~健康寿命を延ばす3つの秘訣~」をテーマに「予防」「運動」「笑い」を取入れ、マンネリ化防止のため参加型の仕組みを工夫。その結果、健康推進課だけでなく、農政課、菊池郡市医師会、スポーツ推進員、食生活改善推進員等とも連携することができ、次年度へ繋がる取組みとなったばかりでなく、公民館職員にとっても大きな学びとなった。

学校と連携・協働した公民館事業

11:25~11:55

花田 健司(福岡県福岡市) 東箱崎公民館 元館長

昭和62年に箱崎校区から分離独立した当時から現在も子育て世代が多く、九州大学の留学生をはじめ、多くの外国籍の方が居住する地域である。多民族・多文化との共生をテーマに開館当初から多種多様な事業を展開し、公民館を中心とした地域づくりが進められてきている。それらの事業の中で、昨年4年目を迎えた。韓国の中学校と地域の中学校との交換ホームステイ交流事業を中心に発表する。夏に韓国の中学生数名を受入れ、冬には地域の中学生が韓国へホームステイを行っている。学校関係者が公民館を通じて自治協議会や地域住民等、多くの人とつながることができる場になっている。

公民館活動における協働の仕組みづくり ~子どもを育てる公民館と学校の協働~

12:00~12:30

赤峯 友子(大分県大分市) 大分市川添公民館 公民館主事

平成14年度の学校週5日制完全実施より協働の仕組みづくりを行い、以前から続けてきた子どもの健全育成事業や学校支援事業に力を入れてきた。公民館と地域が協働して地域の自然と人材を活用し、子どもたちの体験活動を行い、地域の教育力向上を図っている。また、5年前から月に2回程度、子どもたちが自主的に放課後公民館で仕事を手伝う「公民館お助けDAY」が定着してきた。公民館活動が、地域住民や子どもたちの交流の場になり、居場所づくりや生きがいづくりに繋がっている。



第4会場●4F 大研修室

会/五反田新一 鹿児島県立青少年研修センター 研修主事 圖司

大塚 忠生 福岡県教育庁筑豊教育事務所 主任社会教育主事

分科会の進め方 10:45~10:50

おもちゃ病院活動の生涯学習への貢献

10:50~11:20

波多江 保彦(福岡県糸島市) ボランティア団体 おもちゃ病院伊都国 顧問

平成19年から活動する「おもちゃ病院伊都国」。現在、平均年齢65歳の高齢者21名の会員で年間30回ほど開催 している。活動範囲は、おもちゃの無償修理を原点に、小中学校でのおもちゃ修理体験学習支援、リユース支援な どに拡大しており、高齢者の生きがいづくりにも貢献している。この活動が評価されて、県内自治体からの数々の 地域づくり活動賞のほか、平成28年度環境大臣表彰を受賞している。

おいでよ~「なぎさ未来塾・ひまわりハウス『わいわい食堂』|

11:25~11:55

松原なぎさ校区コミュニティー協議会長 追鳥 嘉正(鹿児島県姶良市)

哲朗(鹿児島県姶良市) NPO法人Lかごしま 理事長 吉村

始良市の松原地区は人口増加地区で新旧住民の交流が課題だった。平成27年発足のコミ協とNPOが連携して、 市内の空き家や公民館を活用した「ひまわりハウス」事業を市内8か所(平成30年)で実施。地域の人材を活用し た子どもたちへの学習支援活動、貧困に悩む家庭だけでなく、日常孤食の多い子どもや独居高齢者等へ食事を提供 する「子ども未来塾・わいわい食堂」を年32回開催。地区内や地区外のボランティアの皆さんで運営。予算等も 寄付金や米、野菜など沢山いただいている。

女子目線でのマチナカ再発見~女子部流楽しさの仕掛けとその先~

12:00~12:30

阿部 美和子(長崎県長崎市) ナガサキマチナカ女子部長

「何かしたい」と「マチ」を思う女子達が「女子部」を結成してのまちづくり活動です。さらに「マチ」の人達 も "巻き込み" 参加・共感し、自分が主役のイベントを創り上げています。ヒントは女子が楽しいと思うこと☆コ ンセプトの"自分のまわり5メートルを楽しく"は、自分から動くことを楽しいと思える人をたくさん作れたら何 かが変わる。「マチナカおもてなし壁新聞大作戦」等で、2016年「長崎市まちぶらプロジェクト」認定団体で す。



第1会場●2F第4研修室

■司 会/佐々木将光 島根県津和野町教育委員会 派遣社会教育主事 椋本 博志 長崎県教育庁生涯学習課 参事

分科会の進め方 13:30~13:35

霧島おむすび自然学校~障がいのある人たちの野外活動の実践~

13:35~14:05

壹岐 博彦(宮崎県小林市) 霧島おむすび自然学校 事務局長

1995年発足のおむすび登山会から2008年霧島おむすび自然学校に改称し活動している任意団体である。知的障がいや発達障がいのある人たちを主な対象に、様々な野外活動を実践。障がい者の家庭生活や社会生活の楽しみや趣味につながること、成長や発達を支える力を身につけること(自立や社会参加へとつなぐ)、健常者と障がい者がお互いを認め合う関係を作り出すことを目指している。活動には登山やハイキング、カヤック、沢登り、ほかに自然遊びや料理体験がある。成果として当事者にはコミュニケーション力や社会性の伸長が、保護者は積極的参加と家族間の繋がりの深まりが、支援者には障がい者への仲間意識の芽生えや障がい者を共に楽しむ相手として見る意識の変化があった。

2 高校生による地元再発見 ~「民家の甲子園」愛媛県大会がもたらす効果~

14:10~14:40

。。 **處 淳子**(愛媛県西条市) 「民家の甲子園|愛媛県大会実行委員会 委員

今年度で第17回を迎える「民家の甲子園」は、高校生に日本の原風景である民家や自然、文化などふるさとの魅力を再発見し継承してほしいとの願いをこめて企画された。本実行委員会は、第15回大会から地元新聞社や高等学校PTA連合会の協力を得て運営を開始。「表現することは、人を動かす力になる」と県大会審査委員の講評にある通り、平成30年度開催の16回全国大会における最高賞受賞をはじめ、本大会以外の場でも県大会チームメンバーの多方面での活躍報告が相次いでいる。

ティータイム

14:40~15:05

3 「勝央町カタルバ講座」の実践・手法~中高生が地域で輝く出番づくり~ 15:05~15:35

三戸 祥惠(岡山県勝央町) 勝央町教育委員会 社会教育主事(主査)

注目は、公民館を拠点に中高生が中心になり、主体的にまちづくりや地域課題の解決に向けて活躍する仕組です。中高生が地域で役割を持ち、自ら行動し、創り上げていくことを目指しています。主催は教育委員会、事務局は職員が担当、対象は町内在住、通学の中高校生です。活動は、参加者で話し合い、課題発見し、企画・立案・実施するのです。既に、「図書館フェスティバル」での「青空カフェ」や「公民館ロビー活用プロジェクト」、「Enjoy!子どもの食生活プロジェクト」等を実現しています。

4 舞台体験を通した子どもたちの居場所づくり・地域づくりの実際 ~子どもも大人もつながる新たなコミュニティの構築~

15:40~16:10

田中 晶子(大阪府大阪狭山市) 大阪狭山ギジムナーの会 代表

注目は、中・高校生の舞台を通した人づくりの場です。2005年7月に発足。大阪狭山市を中心とした中・高校生の居場所「表現倶楽部うどい(踊り)」の舞台ワークショップ(企画・運営・舞台制作)や、「うどい」卒業生メンバー(大学生・社会人)による「さやま未来プランナー」のまちづくり事業のサポート活動です。市立公民館事業としてスタートして14年目、沖縄・和歌山・佐賀県や吹田市・枚方市へと交流の輪が広がっています。



第2会場●2F 自由研修室

■司 会/青木 拓夫 島根県雲南市教育委員会キャリア教育推進室 派遣社会教育主事 **宮本 和代** 北九州市市民文化スポーツ局生涯学習課 社会教育委員

分科会の進め方 13:30~13:35

「ながとジュニアリーダーズクラブ」の組織と連携活動の実際

13:35~14:05

久保田 啓子(山口県長門市) 長門市教育員会 社会教育指導員

平成17年7月長門市子ども会育成連絡協議会所属の組織として発足。注目は、高校生を中心とするリーダークラブです。大人と子どものパイプ役として活動しています。主な活動は、①公民館事業や単位子ども会行事との共催、②放課後子ども教室や市主催の成人式への参画・協力等です。毎月の定例会で事業の企画・準備・運営を話し合い実行しています。ここが、高校生による継続的な地域参加活動のポイントです。平成29年3月、山口県子ども会連合会ジュニアリーダー組織表彰を受賞しています。

2 三方良しの「新・職場体験」

14:10~14:40

田原 俊輔(島根県益田市) 益田市教育委員会 派遣社会教育主事

豊田 浩司(島根県益田市) 益田市教育委員会 主任主事

平成30年度、益田市内122の事業所と市内全11中学校が協働して「新・職場体験」を実施した。三方良しとは、「中学校・事業所・益田市」の三者にとって価値のある体験活動であるという意味。それは、故郷・益田への還流の種まきであり、後継者不足の問題解決に貢献する可能性が大きい。この取り組みは平成28年度より開始した。活動の軸は、「益田で子どもたちに出合わせたいたくさんの人」との出会いの積み重ね。事後アンケートでは、「益田には魅力的な事業所(職場)がある」と多くの中学生が感じていた。事業所にとって、真剣に学ぶ中学生の様子が、事業所の「負担感」を解消してしまった。

ティータイム

14:40~15:05

3 キャリア教育『夢授業』

15:05~15:35

木原 大助(福岡県北九州市) 北九州キャリア教育研究会 会長

2013年、ある北九州市立小学校の先生方と企画して始まった『夢授業』。目的は子どもたちの職業観を芽生えさせ、育てることで将来への夢を作り、将来への希望を持たせ、日々の学習や生活全てにおいて生きがいを作ること。2015年からボランティア組織として「キャリア教育研究会」が発足し、一般社会で楽しく熱心に働く職業人達を学校へ派遣し、子どもたちと「どんな職業か」や「働くということの意義」について語り合うプログラムを実施する。現在、事務局40人、ボランティア800人の体制で運営している。延べ参加生徒数は46校3,708名を数え、実施校は毎年増えて行っている。また近隣の地域にも研究会を立ち上げている。

- 子どもたちが「楽しく学べる出前講座」への思いと活動

15:40~16:10

高橋 昌美(高知県高知市) 学び場人材バンク登録講師・地球33番地クラフト工房代表

NPO法人高知県生涯学習支援センターは、地域と学校が連携・協働して、子どもたちの成長を支え、地域を創造する県事業「地域学校協働活動」の協力団体として、市町村教育委員会や各活動場所等に人材紹介を行う「学び場人材バンク」事業を受託。登録者を夏休み等学校の長期休業日、児童クラブ、子ども教室、公民館等に派遣する「出前講座」を実施。10年前に講師として登録し、「楽しく学べる出前講座」として、オリジナルテキストを作成して活動している。年々教室(講座)依頼が増加。半年前からの予約もある。



第3会場●4F 視聴覚室

■司 会/吉岡 康行 広島県教育委員会事務局教育部生涯学習課 社会教育監 鹿島 嘉節 大分県立図書館 学校·地域支援課 社会教育主事

分科会の進め方 13:30~13:35

ハッチョウトンボを通じた地域ぐるみのESD学習

13:35~14:05

岡本 修治(島根県浜田市) 浜田市立雲城公民館 館長

平成25年、耕作放棄地に絶滅危惧種II類のハッチョウトンボが発見された。一円玉ぐらいの小さな貴重種である。この発見を活用し、子どもたちにふるさとへの誇りをもたせ、環境に対する意識を育てることを目的に、大人も一緒に保護活動を進めている。活動は、「ハッチョウトンボを守る会」を中心に、雲城公民館、雲城まちづくり委員会、小中校、地域住民で、主な活動場所は耕作放棄地(トンボ公園)。小学校の野外観察指導や観察会と学習会、枯草の除去などの活動をしている。小学生は、環境学習としてハッチョウトンボを題材の環境ポスター、歌、ダンス、グッズづくりを通して活動への意欲を高めている。

2 「親孝行の里」の地域力の源泉 ~津波見名(つばみみょう)振興協議会の挑戦~

14:10~14:40

山下 信二(長崎県南島原市加津佐町) 津波見名振興協議会 顧問

南島原市加津佐町の津波見名振興協議会は、旧津波見小学校の学校行事であった孝子祭を、親孝行の教えを学ぶ地域の取り組みとして平成27年度から引き継いで実施しています。平成30年4月から廃校を活用した交流施設「孝子の里つばみ交流café」をオープンし、来客数は1営業日当たり30~50名に達しています。平成30年度ながさき農林業大賞(げんきヴィレッジの部)を受賞しました。現在、津波見地区の高齢化率は49%と高いですが、「地域力を高めて地域を変えていく」活動をめざしています。

ティータイム

14:40~15:05

3 「このまちにくらしたいプロジェクト」の運営と手法

15:05~15:35

為政 久雄(広島県広島市) 古田公民館 主事

ESD (持続可能な開発のための教育)の視点で、中学生と地域住民が一緒になって地域課題に向い合い、多様な世代が共生できる社会づくりを目指しています。主催は「古田公民館」、共催は住民グループ「多世代寺子屋ネットワーク」です。注目は、中学生の発案で「みんなが幸せに使える公園」をテーマに、ワークショップを重ね企画したイベント、「冒険あそび場ワンダふるたパーク」を実施し、公民館が多世代の居場所づくりの拠点となり、地域住民の絆を深めています。

「いいづか市民マナビネットワーク」のシステムと取り組み

15:40~16:10

村岡 剛(福岡県飯塚市) 飯塚市教育委員会教育部生涯学習課 中央公民館・図書館係

「知っている人が、知りたい人に教える。」という原始的な「学び」に着目し、「いつでも、どこでも、誰でも」学べる生涯学習社会の構築に着目した事業。ボランティアで教えていただく高齢者等有志指導者を認定・登録し、学びたい人が5人(以上)集まれば、指導者を派遣するというシステム化した事業形態である。また、「マナビネットワーク」は、「学び」をキーワードにした「まちづくり」(学縁都市づくり)を目指す事業で行政(中央公民館)と民間の協働事業で推進している。平成21年9月に発足し、本年度で10年目を迎える。受講者も年間延1万人を超え、通称「e-マナビ」で市民に親しまれている。



第4会場●4F 大研修室

■司 会/古戝 智美 熊本県教育庁教育総務局社会教育課 社会教育主事 野村 美穂 福岡県教育庁福岡教育事務所 主任社会教育主事

分科会の進め方 13:30~13:35

地域活性化に導入した「リードフォーアクション」の仕組みと手法 〜仲間と一緒に読書・対話・課題発見・解決〜

13:35~14:05

観元 眞人(徳島県徳島市) 一般社団法人地域活性十会 理事·事務局長

「リードフォーアクション(行動するための読書会)」を導入した地域活性化の事例です。地域の魅力(地域資源)を仲間との読書を通じて発掘・発見し活用しています。さらに、地域課題を共有し、未来志向で発掘し解決しているのです。具体的には、地域活性化のアイディア発掘や商品開発及び観光地づくり等に効果を挙げています。参考にしたいのは、その内容、方法、形態です。活動の場は徳島県を中心に四国四県等で、広がりが期待されます。

2 地域みんなで防災アクティブラーニング〜熊本地震の経験から学ぶ〜 14:10~14:40

徳永 伸介(熊本県(全域)) くまもとクロスロード研究会 代表

全国の学校や地域で楽しく防災を学ぶ学習ツールとして「クロスロード」(災害対応シュミレーションゲーム)が活用されています。私たちは、熊本地震から1年後に「くまもとクロスロード研究会」を立ち上げ、被災者の声を集めた「クロスロード熊本編」を作成しました。運営事務局やファシリテーターなどの人材育成と多様な県民が体験する機会を増やしながら、持続可能な組織づくりと機会づくりを図っている団体です。多世代の異質な人間が暮らす地域で、みんなが他者を認め合うクロスロード体験の機会から、生きる知識(防災力)を広める実践者へと変化していく。そんな防災生涯教育チーム(くまもとクロスロード研究会)の活動を紹介します。

ティータイム

14:40~15:05

3 世界遺産 「勝連城」復活プロジェクト ~560年前に滅んだ城を蘇らせる~

15:05~15:35

牧門 司(沖縄県うるま市) 勝連城復活プロジェクト実行委員会委員長

與那嶺 忠(沖縄県うるま市) 南原小学校校長

560年前に滅びた勝連城を復活させようと南原小学校の児童ら330人が、幅7m高さ6.5mの城が描かれた幕の色塗りに取り組みました。夜は城壁とともにライトアップを行いました。制作に5か月を要して、21日の展示期間中約16,000人の来場者がありました。この活動が映画化されて、エキストラとして児童と地域の大人たちが出演しました。この活動が地域の結束を強め、地域の活性化を大きく後押ししたことは間違いありません。

まちづくりは〇〇〇! 〜生き残りをかけたコミュニティの幕開け〜

15:40~16:10

橋崎 和弘(鳥取県鳥取市) NPO法人とうごう未来応援隊 代表理事

小学校の統廃合問題をきっかけに、東郷地区活性化に向けた機運が高まり、PTAが中心となって、平成26年に「NPO法人とうごう未来応援隊」が設立された。少子高齢化と人口減少が進行する中、子どもたちの未来を願い、地区内外の人を巻き込んでまちづくりに向けて活動をしている。毎年開催している「とうごう田植えまつり」では3年間で延べ600名以上の地区外の参加者を得て、東郷地区の魅力を発信している。またコミュニティスクール事業による校区外から東郷小学校への転入者受け入れや移住者の受け入れ、さらに国際交流事業では児童を中心にシンガポールとの継続的な関係構築に力を入れている。



第38回大会 特別報告

■時 間/ 16:30~17:00 ■会 場/2F講堂

テーマ●「グローバル時代の日本文化再考」 ~文化がつくりだす「国柄」と「副作用」~

報告者 三浦清一郎

2_{nd day} 5.19_{Sun}. 第38回大会 特別企画 「超高齢社会の『未来の必要』」

■時 間/9:00~11:30 ■会 場/2F 講堂

第1部:9:00~10:10

〈インタビュー・ダイアローグ〉

「高齢社会の放送大学」~その使命と活用の可能性~

登增者:中央教育審議会委員

放送大学特任教授・福岡学習センター所長

放送大学大学院修了者 元北九州市若松区長

聞き手:九州共立大学名誉教授

九州女子大学教授

菊川 律子 西之原鉄也

古市 勝也大島 まな

<登壇者プロフィール>



●菊川 **律子** 中央教育審議会委員 放送大学特任教授·福岡学習センター所長

福岡県立図書館長や国立青少年教育振興機構理事等、福岡県や国で教育行政、特に生涯学習の仕事に携わる傍ら、中央教育審議会委員を務める。九州大学理事では男女共同参画や教育・社会連携を担当。放送大学では利用者の視点に立ち面接授業や公開セミナーの充実、新たなニーズの掘り起こし等に努めている。



●西之原鉄也 放送大学大学院修了者 元北九州市若松区長

北九州市に入職後、各分野を担当し、教育委員会教育次長、若松区長を経て、北九州市総務市民局市民活動 推進担当理事、交通局長、美術館副館長、市立文書館長を歴任。現在は、北九州社会教育・生涯学習研究会副 会長を務め、地域では、自治会長や健康づくり委員会長、食生活改善推進員などの活動を行っている。

<間き手>



●古市 勝也 九州共立大学名誉教授

九州共立大学・九州女子大学・同短期大学生涯学習研究センター所長、九州共立大学スポーツ学部教授、九州共立大学地域連携推進室長を経て、九州共立大学名誉教授、日本生涯教育学会生涯学習実践研究所福岡センター長、「西日本『生涯学習御学友』ネットワーク」世話人代表、第34回から交流会代表世話人を務める。



●大島 まな 九州女子大学教授 人間科学部長

九州大学教育学部社会教育学講座助手、九州女子短期大学講師、九州女子大学共通教育機構准教授を経て現職。福岡県および北九州市の社会教育委員、男女共同参画審議会委員、日本生涯教育学会九州地区理事などを務める。山口県や北九州市若松区の地域人材養成講座で、成人学習の可能性と面白さに出会う。共著に『社会教育の核心』、『子どもたちに豊かな放課後を』など。

第2部:10:20~11:30

〈インタビュー・ダイアローグ〉

「『学習療法』で認知症高齢者の脳機能活性化に挑む」

登壇者:福岡県大川市:社会福祉法人道海永寿会総所長

介護老人福祉施設永寿園 園長 山崎 律美

聞き手:月刊生涯学習通信『風の便り』編集長三浦清一郎

元飯塚市教育委員会教育長 飯塚市青少年教育施設 サンビレッジ茜理事長 森本 精造

<登壇者プロフィール>



●山崎 **律美** 福岡県大川市:社会福祉法人道海永寿会総所長 介護老人福祉施設永寿園 園長

旧厚生省・社会局・国立福岡視力障害センター生活指導員専門職、佐賀県福祉生活部身体障害者施設生活指導員、児童施設・児童指導員、福祉事務所ケースワーカーを経て、社会福祉法人道海永寿会・特別養護老人ホーム永寿園に入職。現在、社会福祉法人道海永寿会総所長と特別養護老人ホーム永寿園園長を兼務している。

<聞き手>



●三浦清一郎 月刊生涯学習通信『風の便り』編集長

国立社会教育研修所、文部省、福岡教育大学、シラキューズ大学、九州女子大学などを経て、現在月刊生涯 学習通信「風の便り」編集長。晩年は執筆に集中し、近著に、「明日の学童保育」(日本地域社会研究所)、「国際 結婚の社会学」(同)、「詩歌自分史のすすめ」(同)、「消滅自治体は都会の子が救う」(同)「隠居文化と戦え」(同) などがある。



●森本 精造 元飯塚市教育委員会教育長 飯塚市青少年教育施設 サンビレッジ茜理事長

福岡県教育庁社会教育課長、福岡県立社会教育総合センター所長、穂波町教育委員会教育長、飯塚市教育委員会教育長を歴任。穂波町時代、全公立小学校に「子どもマナビ塾」、「熟年者マナビ塾」を導入し、飯塚市では「いいづか市民マナビネットワーク」(e-マナビ)など多くの先駆的行政施策の開発を手掛けてきた。退職後は「学童と学校の連携」(学社連携)に奔走。前本交流会代表世話人。

第37回大会開催報告

●大会期日 平成30年5月19日(土)~20日(日)

●場 所 福岡県立社会教育総合センター

実践研究発表者 司会者及び 県別参加者

		中国	地 区	
県	名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
山		4	3	12
広	島	2	1	14
島	根	2	2	15
鳥	取	2	0	20
岡	Щ	1	0	7
計 11		6	68	
			331	

ı		中国·四国·九州地区以外							
1	県 名		実践研究発表者数	司会者数	参加者数				
	東	京	0	0	4				
	大	阪	0	0	10				
	静	畄	0	0	1				
	計		0	0	15				

	九州	地 区	
県 名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
福岡	7	3	224
佐 賀	1	0	24
熊本	2	2	23
大 分	2	2	28
宮崎	1	0	19
長崎	2	0	28
鹿児島	2	2	11
沖 縄]	0	6
計	18	9	363

		四国	地 区	
県	名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
徳	島	2	0	6
愛	媛	1	1	1
愛高	知	0	0	3
香	Ш	0	0	0
計	計 3		1	10

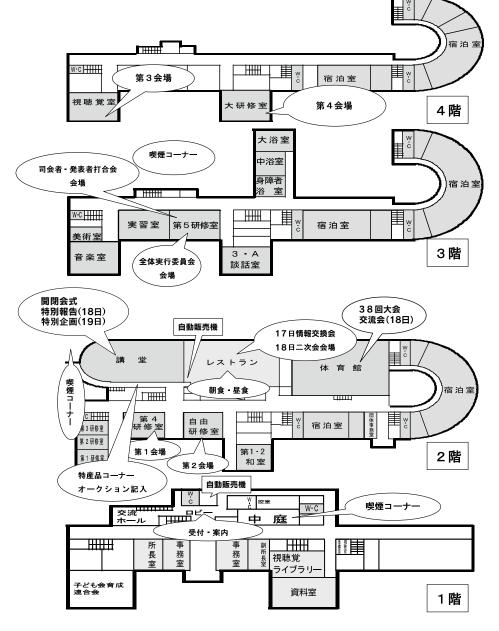
		発表者数	司会者数	参加者数	総参加者数
総	計	32	16	456	504

特産品、稀少品ありがとうございました 第37回大会も皆様のご協力により、 たくさんの特産品が集まりました。ありがとうございました。

番号	氏名·団体名(様)	県名	所属名	特産品名
1	濱﨑 博志	高知県	NPO法人高知県生涯学習支援センター	田野屋塩二郎シューラスク
2	濱﨑 博志	高知県	NPO法人高知県生涯学習支援センター	しんじょう君クリアファイル
3	松本 英俊	長 崎 県	草社の会	日本酒 飛騰(ひらん)
4	松本 英俊	長 崎 県	草社の会	日本酒 おろくにんさま
5	森本 精造	福岡県	(一財)サンビレッジ茜	卵
6	杉原 潔	広島県	瀬戸田町ボランティアネットゆうゆう	40コのれもん
7	鵜木 孝夫	鹿児島県	姶良市教育委員会	さつまぼっけもん
8	赤田 博夫	山口県	VOLOVOLOの会	地酒
9	三浦 清一郎	福岡県		2017年パリ農業コンクールワイン
10	香月 利都子	福岡県	事務局	玄海灘を召し上がれ
11	香月 利都子	福岡県	事務局	ひじき
12	古市 勝也	福岡県	九州共立大学	せごどん 焼酎
13	田中 恒治	鳥取県	鳥取県教育委員会社会教育課	牛骨ラーメン
14	上野 祥子	熊本県	UEKII/クリエーション協会	ドーナツ棒
15	しまだ ようこ	鳥取県	境港市立上道小学校	絵本「~伯州綿を育てよう~わた日記」
16	串田 啓介	鹿児島県	霧島市教育委員会	霧島茶セット
17	紫園 来未	佐 賀 県	オフィスしおん	めんべい
18	岡田 正彦	大 分 県	大分大学	日本酒鷹来屋純米吟醸 若水
19	矢田部 敏夫	山口県	防府市立野島小中学校	かわらそば美東たまねぎドレッシング
20	吉村 哲郎	鹿児島県	NPO法人Lかごしま	黒伊佐錦
21	木原 忠	福岡県	宇美町役場 町長	宝満の夢
22	木原 忠	福岡県	宇美町役場 町長	マルトしょう油のめんつゆ・ゆず塩ぽん・ちょこっと浅漬
23	岩野 泰典	徳島県	徳島県教育委員会	やまもも姫(酒)、すじ青のり、藍染めハンカチ、野菜ドレッシング
24	佐藤、中野、矢括、向江	宮崎県	宮崎県教育庁生涯学習課	おすすめ みやざき県五ヶ瀬ワイン
25	大島 まな	福岡県	九州女子大学	世界遺産「沖の島」セット(お酒·めんべい)
26	大下 真史	鳥取県	南部町教育委員会事務局	鳥取発「社会教育の底力ポロシャツ」Lサイズ
27	椋本 博志	長 崎 県	長崎県教育庁生涯学習課	おぢか島の落花生
28	谷本 理佐	福岡県	福岡県教育庁教育振興部社会教育課	久原本家茅乃舎 だし
29	谷本 理佐	福岡県	福岡県教育庁教育振興部社会教育課	ガトーフェスタハラダ ラスク焼菓子詰め合わせ
30	椋本 博志	長 崎 県	長崎県教育庁生涯学習課	ソーメンセット
31	富田 和宏	長崎県	長崎県教育庁生涯学習課	五島の椿油と焼酎
32	山口 由希	鳥取県	日吉津村教育委員会事務局	お酒「鶩(あひる)」(福島県産」)
33	富田 和宏	長 崎 県	長崎県教育庁生涯学習課	なまこ石鹸
34	東川 絵葉	岡山県	教育庁生涯学習課	岡山フルーツ酒セット
35	大城 喜江子	沖縄県	(一社)まちづくりうらそえ森の子児童センター	沖縄ナンデンシー(くわの実)リキュール酒
36	安永 友紀	長 崎 県	川棚町健康推進課	長崎県川棚町「小串トマト」
37	入江 雅史	鳥取県	大山町中央公民館	特大サイズ大根まんじゅうと大山写真集

番号	氏名·団体名(様)	県名	所属名	特産品名
38	井本 雅晶	福岡県	朝倉市	珈琲酒
39	島田 浩一	熊本県	社会教育課	ひとくちブチシュー
40	吉田 知子		大分県立図書館	カトレア醤油
41	今井 博志	愛 媛 県	愛媛のおやじ井戸端会議	愛媛のTシャツ
42	竹内 一久	宮崎県	江平小学校	手作り焼酎 そののつゆ
43	中園 謙二	岡山県	日本青年団協議会	元祖きびだんご
44	末次 健太郎	佐 賀 県	伊万里市役所(市民図書館)	しょうゆセット
45	梅川 美沙乃	長 崎 県	日本青年団協議会	カステラ ラングトシャ
46	大木 由以	東京都	青山学院大学	青山大学Bセット
47	鈴木 眞理	静岡県	青山学院大学	青山大学Aセット
48	西村 信彦	鳥取県	教育委員会	白バラ牛乳サブレ
49	NPO法人こどもサポートにっこにこ	大 分 県		100%オレンジジュースアンコール
50	吉岡 康行		広島県教育委員会生涯学習課	カープトートバック
51	仲 正恵	大分県	杵築市教育委員会 #34.0.0.0	シチトウイ スリッパ
52 53	松尾 修渡辺 いづみ	長崎県	草社の会	ハチミツ 銘菓 パナナのたたき売りのはじまるところ
54	山口 千樹	福 岡 県 長 崎 県	西門司市民センター 生涯学習課	断来 イグナのださだがいはしまるところ めずらしい長崎・平戸の焼酎
55	岩尾善治		杵築市教育委員会山香中央公民館	杵築紅茶
56	久保田 真矩、堀井 真美	長崎県	佐世保市教育委員会地区公民館	本陣(日本酒)
57	未次 健太郎	佐賀県	伊万里市役所(市民図書館)	伊万里牛の牛みそ汁
58	末次 健太郎	佐 賀 県	伊万里市役所(市民図書館)	伊萬里和蜂のハチミツ
59	芝尾 文徳	大 分 県	日出町	大分むぎ焼酎(二階堂速津媛)、かれい最中、かれい浪漫
60	吉川良二	熊本県	社会教育課	吟醸
61	末次 健太郎	佐 賀 県	伊万里市役所(市民図書館)	波浦の塩
62	米田 珠美	広島県	府中町家庭教育支援チーム「くすのき」	カップゴーフルと瀬戸内れもん味イカ天
63	大名 克英	広島県	広島県教育委員会	旧海軍カレーカツ
64	府中町家庭教育支援チーム「くすのき」	広島県		カープもみじまんじゅう
65	海田西中学校		海田住民活動ネットワーク	海田町クッキー
66	中野大介	長崎県	長崎県教育庁生涯学習課	マフィール(よりより)
67	NPO法人こどもサポートにっこにこ	大 分 県		あまざけ
68	広島県立生涯学習センター 有志一同	広島県	広島県立生涯学習センター	ゴールド加茂鶴 純金箔入 大吟醸
69	NPO法人こどもサポートにっこにこ	大分県		手焼きせんべい
70	NPO法人こどもサポートにっこにこ	大分県		鬼フライ
71	NPO法人こどもサポートにっこにこ 西山 香代子	大分県 山口県	やまぐちネットワークエス	大分むぎ焼酎(二階堂速津媛)、おおいた からあげせんべい 山口の豆子郎 萩の旬
73	田島正子	長崎県	生涯学習課	回うどんとソース
74	大城喜江子	沖縄県	なは市民協議会	スナックパイン
75	松田 愛子		広島県立生涯学習センター	広島銘酒のみくらべ 加茂鶴ゴールド・誠鏡・千福にごり酒
76	楠富 香織	長崎県	教育庁生涯学習課	回うどんチョコレート
77	水上 真悟	島根県	吉賀町教育委員会	かぼすぽん酢、鮎だし、燻製醤油セット
78	財津 敬二郎	大 分 県	大分県生涯教育学会	ヤバビジン
79	田島 正子	長 崎 県	教育庁生涯学習課	あごだしめんつゆ
80	上野 敦子	山口県	井関にこにこクラブ	日本酒「旬彩」
81	山田 智章	東京都	社会教育実践研究センター	白い恋人
82	松本 由布子		社会教育実践研究センター	パンダ関連菓子
83	小山田 佳子		社会教育実践研究センター	南ヶ丘牧場(栃木県那須高原)、みるくジャム、ぬるチーズ
84	吉岡 理恵	長 崎 県	諫早市生涯学習課	湯せんぺい
	森光 康恵		備中「聞き書き」実行委員会	デザインファーム・トド・ジャム
	森光 康恵		備中「聞き書き」実行委員会	鬼の涙(本)
87	森光 康恵		備中「聞き書き」実行委員会 中部教育事務所	備中「聞き書き」作品集(5冊組)
88	福原 洋子		田山県総合教育センター	青島せんべい ままかりせんべい&かきのアヒージョほか
	中村和夫		山口VOLOVOLOの会	「羽衣もなか」
91	富坂 興子		勝央町教育委員会	作州牛の干し肉
92	三戸祥惠		勝央町教育委員会	日本酒 加茂五葉純米吟醸
93	宇井 知隆		姶良市教育委員会	薩摩のどん
94	鵜木 孝夫	鹿児島県	姶良市教育委員会	焼酎 おやっとさあ
95	松尾夏祭り実行委員会	宮崎県		KOBIKI BLUE 黒霧島
96	吉村 哲朗	鹿児島県	NPO法人Lかごしま	さくらじま
97	上原仙子	沖縄県	なは市民協議会	琉球泡盛 暖流
	大城 喜江子		(一社)まちづくりうらそえ 森の子児童センター	沖縄ナンデンシー(くわの実)リキュール酒
	井本 雅晶		朝倉市教育委員会	ももいろ(ロゼワイン)
	井本 雅晶		朝倉市教育委員会	藍茜(赤ワイン)
	堀居 真美、久保田 真巨 梅垣 賢一 徳永 百会		佐世保市相浦地区公民館 佐世保市江迎地区公民館	日本酒神の光
	増垣 賢一、徳永 百合芥川 学		鳥取県立生涯学習センター 鳥取県教育委員会 宝土市主選地区小民館「主選マルメロ会」宝土市中央小民館	鳥取砂丘 しそ巻らっきょう カセイタ
	カル 子 井上 智朗		宇土市走潟地区公民館「走潟マルメロ会」宇土市中央公民館 国立夜須高原青少年自然の家	カセイタ 梅酒 大宰府の梅
	福岡教育事務所	福岡県	르노 (, , 저희까 더 , 구니까?)	時酸沖ノ島
	教育庁教育振興部社会教育課	福岡県		特別純米酒 蒼田・船中八策
	筑豊教育事務所	福岡県		プレミアムモルツ 1ケース
	古市 勝也		九州共立大学	西郷どん かすてらさんど
	正木 遥香		大分大学高等教育開発センター	ドン・フランシスコ
110	島田 浩一	熊本県	教育庁教育総務局社会教育課	黒糖 ドーナツ棒
111	石津 峰	福岡県	教育庁教育振興部社会教育課	チロリアン
112	古賀 千絵	福岡県	教育庁教育振興部社会教育課	アスパラエース20本
	原 正彦、池上 利之	福岡県	社会教育総合センター	久留米ラーメン、リポビタンD20本
	高椋 剛太、澤田 亮、濵田 志織	福岡県	北筑後教育事務所	パームクーヘン
	古賀 龍二	福岡県	朝倉市教育委員会生涯学習課	オロナミンC、リアルゴールド
	大谷俊浩	福岡県	教育庁教育振興部社会教育課	みかん
	宝蔵寺保子		佐賀市立勧興公民館	筑紫もち
	山手研一		田川科学技術高等学校	洋菓子セット
	中薗 宏 楢原 理香		福岡教育大学 	お菓子セットセゾン焼き菓子
120	161水 任日	佃 叫 宗	飯塚市教育委員会生涯学習課	なお、紙面の都合上、敬称と職名は省略させて頂きました。
				こち 独田のが今 6 80枚を贈りけ名取させて直ますした

会場案内図



「ふくおか社会教育ネットワーク」

にて本大会の発表事例は、 掲載されます!



その他、福岡県内の社会教育に関するイベント・施設・HPリンクが見られる 充実したホームページです。

ホームページアドレス

http://www.fsg.pref.fukuoka.jp

ぜひ一度 ご覧ください!



福岡県立社会教育総合センター

ください!

住所 〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2 TEL 092-947-3512 FAX 092-947-8029